

## 第492回 （9月定例）福崎町議会

福崎町長 尾崎吉晴

皆さんおはようございます。本日は、第492回福崎町議会定例会を招集しましたところ、全員のご出席を賜りありがとうございます。

今年は梅雨明けが例年より遅かったのですが、8月に入りますと、連日猛暑日となるようなたいへん暑い夏となりました。また、今のところ福崎町を含む中播磨管内では災害はありませんが、九州地方を中心に「令和2年7月豪雨」により大きな被害が発生しました。いづどこで災害が発生しても不思議ではない時代に入っています。災害に対する備えを普段から心がけておくことが重要だと強く感じています。

8月28日に、「安倍晋三首相が退陣表明」というニュースが世界中を駆け巡りました。引き続き頑張っていくという、決意の記者会見かと思っていましたので、たいへん驚きました。ご心中をお察しするとともに、長きにわたり重責を担われた安倍首相に深く敬意を表するものであります。

今まさに、自由民主党の中で総裁選びが進んでおりますが、自民党総裁が次期内閣総理大臣であります。新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、外交、内政に課題が山積みであります。どなたが総理大臣になられても、強いリーダーシップで自由と民主主義そして平和を守る政治を進めていただきたいと思っております。

さて、今年も早や9月になりました。今年新型コロナウイルス感染症が発生した年として人々の記憶に残る年になるのではないのでしょうか。

4月から5月にかけて第1波が発生し、非常事態宣言が発令されました。その効果もあって6月には一旦抑え込みに成功したかのように見えたのですが、7月から8月にかけては感染者が再び増大し、第2波の到来は疑いの余地がない状況となっております。4月～6月期の国内総生産（GDP）は年率換算で27.8%減、成長率のマイナス幅は比較可能な1980年以降で最大となり、リーマンショックを上回る戦後最大の落ち込みとなりました。

国の非常事態宣言を受けて外出自粛や営業休止などが広がったことから、観光業界や外食産業などを中心に大きな影響を受けています。国ではGo Toキャンペーンが進められ、感染症を抑え込む施策と経済を活性化する施策の両方が同時に進められています。人の命が最も大切ですが、経済活動も同様に大事な施策であるという政府の意思の表れ

ではないかと感じています。

このような状況に対応するため、福崎町におきましては5月臨時会での第1次補正、6月定例会での2次補正に続いて、今議会には3次補正として国の臨時交付金を活用しながら新型コロナウイルス感染症対策事業を提案させていただいています。

また、兵庫県では3密をさける。できるだけ2m、最低でも1m離れる。マスクを着用する。手洗いはしっかりと30秒。という、兵庫スタイルを推奨しています。これを守ることによって感染のリスクは大きく減少させることができますので、福崎町といたしましても、家庭、地域、事業所に対してしっかりと呼びかけてまいります。

今年は5年に1度実施される国勢調査の年であります。この調査で発表される国勢調査人口が私たち地方自治体にとって最も重要な統計資料の一つとなります。それは総合計画の人口推計や地方交付税の基礎数値となるからです。

国勢調査人口が最も多かったのが平成17年の20,669人で、平成22年には19,830人、平成27年は19,738人となりました。その後の5年間で住民基本台帳人口は減少していますので、この度の国勢調査人口は大きく減少するのではないかと心配をしています。

第5次総合計画では令和5年の目標人口を19,500人と設定しています。人口は町の活力のすべてではありませんが重要な目安の一つだと思っています。人口減少、少子高齢化の時代にあつて、福崎町だけがその流れに抗(あらが)うことはできませんが、第5次総合計画やまち・ひと・しごと総合戦略を着実に実行していくことで活力ある住みよいまちづくりを進めていかなければならないと考えています。

さて、8月上旬にビッグニュースが飛び込んできました。朝日新聞出版の「アエラ」という雑誌に「コロナ時代の移住先ランキング」という特集が組まれていたのですが、福崎町が近畿地区第1位に選ばれました。先人のまちづくりに対する取り組みが評価されたものと大変うれしく思っています。その後、地域づくり懇話会で井戸知事と面談する機会があり、その報告をしますと大変喜んでくださいました。福崎町は小さいけれど住みやすいまち、移住先としてもふさわしいまちとして評価をしていただけたのではないかと大変うれしく思っています。

福崎町はこれからも引き続き、活力にあふれ、風格のある、住んでよかった、住み続けたい、と思っただけの住みよいまちづくりに全力で取り組んでまいります。

続いて、各課からの報告です。

#### 【総務課】

令和2年度実施の職員採用試験の募集を締め切りました。申込状況ですが、一般行政職は若干名の採用予定に対して47人、土木職1人に対し1人、保健師1人に対し2人の応募がありました。

1次試験は、今月20日、日曜日に神戸医療福祉大学で実施します。

次に、選挙管理事務についてですが、選挙人名簿の定時登録者数は、9月1日の基準日現在、男7,434人、女8,057人、計15,491人となり、前回の6月基準日より31人の減となっています。

#### 【企画財政課】

5年に1度の我が国で最も重要な統計調査である「国勢調査」を10月1日現在で実施します。9月2日から3日にかけて調査員に対し説明会を開催しました。

オンラインによる回答は9月14日から10月7日までの受付となっており、紙ベースの調査表による回答は10月1日から回収します。

#### 【税務課】

令和2年度町税等の納税通知書及び介護保険料納入通知書を6月16日に、後期高齢者医療保険料の納入通知書は7月16日に発送しました。また、4月1日から6月30日まで固定資産評価台帳の縦覧・閲覧を行い、法人17件、個人37件、計54件の縦覧・閲覧がありましたが、評価額に対する異議申し立てはありませんでした。

また、滞納整理対策委員会では、債権管理条例に基づき、税・使用料等の債権管理台帳を作成し、情報の共有化を図るとともに、令和2年度徴収計画に基づき、関係課と連携しながら取り組んでいきます。

#### 【地域振興課】

新型コロナウイルス感染症の影響で、福崎秋まつりは中止としました。

福崎町商工会による「なっ得商品券」事業が8月6日から始まりました。今回は、新型コロナウイルス感染症対策事業として、プレミアム部分を20%とし、額面総額を1億800万円に増額し、令和3年1月15日まで実施しています。

### 【住民生活課】

子育て世帯応援給付金などの新型コロナウイルス感染症対策緊急支援策につきましては、順調に給付事務を進めています。今後も積極的に申請を勧奨していくなどしながら、誰ひとり取り残すことなく支援を受けることができるよう努力していきます。

町営住宅駅前団地15戸の入居者を募集しました。抽選日は、9月8日を予定しています。

秋の全国交通安全運動は9月21日から9月30日までの予定で実施されます。

新型コロナウイルス感染症の影響で、自然歩道を歩こう大会は中止としました。

### 【健康福祉課】

特別定額給付金については、8月18日で受付期間が終了し、給付率は99.6%で、7,765世帯の方に19億410万円を支給しました。

第3次福崎町障がい者プランの策定に向け、障害者福祉施策推進協議会を立ち上げ、障害者のニーズを把握するためアンケート調査を実施しています。

また、第8期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の策定については、65歳以上の方を対象にアンケート調査を実施しました。今後、その調査結果などを踏まえ、計画素案を、介護保険運営協議会で審議頂き計画策定を進めます。

9月は老人福祉月間で、1日には最高齢者宅を訪問し、祝福させて頂きました。新型コロナウイルス感染症の影響で、老人芸能慰安会は中止としました。

### 【農林振興課】

福崎町農業委員会では、8月27日、28日の2日間で、町内全域の農地パトロールを実施しました。今後、耕作放棄地や不適切な使用等について整理を行い、所有者等に対し文書や現地立会い等を行い適正な管理となるよう指導します。

人と動物との住み分けを図るため、山林の見通しを良くする「野生動物共生林整備事業」を八千種地区で進めています。9月2日に事業説明会を開催しており、今年度は、支障木の伐採や間伐・刈払い等整備工事を実施します。

### 【まちづくり課】

想定最大規模の降雨による浸水想定区域や土砂災害特別警戒区域及びため池浸水想定区域を反映させた防災マップの改訂版を作成し、9月の区長文書で各戸配布を行います。

福崎駅へのアクセス強化などを目的とした、都市計画道路福崎駅田原線の見直しにつ

いては、今後、都市計画の変更に向け、地元自治会や兵庫県との調整を図っていきます。

橋梁補修では、福崎町橋梁長寿命化修繕計画に基づく定期点検の実施や補修工事の実施をはかります。

コミュニティバスサルビア号及び福崎町・姫路市連携コミュニティバス、ふくひめ号の充実については、健康福祉課と協力してさらなる利便性向上と、利用増を推進していきます。

#### 【上下水道課】

水道事業では、劣化損傷が見られる辻川山配水池の長寿命化対策として改修工事を行います。また、大貫地区、八千種地区などにおいて、各戸メーター替えを10月から実施します。

下水道事業汚水整備では、福崎浄化センター膜カートリッジ更新工事の実施設計の作成を進めています。

雨水幹線整備では、南田原地区の川すそ雨水幹線工事を進めています。また、福田・駅前地区では、直谷第2雨水幹線整備の工事発注を11月に予定しています。

#### 【工業団地整備室】

東部工業団地造成（拡張）事業は、県土地開発公社に委託し、今年度中の工事完了を目指して取り組んでいます。現在は、施工業者も決定し、本格的な造成工事に着手しています。

#### 【学校教育課】

給食センターにおける調理業務と配送業務を平成30年度から民間業者に委託していますが、今年度が最終年度となるため、令和3年度から令和5年度の3年間について、新たに業者を決定します。

小中学校では、新型コロナウイルスに感染しないように、児童生徒はマスクの着用や手指消毒の励行などをしながら頑張っています。音楽室などの特別教室にエアコンを整備し、学力保障に効果を上げています。そのような状況のなか、運動会や体育大会、修学旅行など子どもたちに意義深い行事をできるかぎり開催していきたいと考えます。

GIGAスクール事業では、小中学校における校内通信ネットワークの構築が12月末に完了する予定です。

## 【社会教育課】

文化財を保存するだけでなく、地域総がかりで計画的に文化財の保存活用を図っていくため、町が目指すべき目標や中長期的に取り組む具体的な内容を記載した文化財保存活用 地域計画の策定に取り組んでいます。

歴史民俗資料館では、町内に残存する戦争資料として、戦時中に使用されていた日用品や兵士の所持品などを展示する企画展「戦後 75 年 福崎と戦争の歴史をつむぐ」を開催しています。

文化センターでは、開講時期を 9 月に延期していた老人大学やサルビアセミナーについて、安心して参加いただくことが困難なことから、中止としました。

図書館では、新型コロナウイルス感染症対策として図書消毒機を購入し利用者の衛生面での不安解消に取り組んでいます。また、恒例行事となりましたキャンドルナイトを 9 月 11 日の夕暮れから開催します。

さて、今議会に提出した議案は報告 2 件、議案 16 件の計 18 件です。

(略)

以上、報告が 2 件、人事案件が 1 件、決算が 8 件、条例改正が 1 件、補正予算が 3 件、その他 3 件の全 18 件となっています。

詳細説明は、副町長、担当課長が行いますのでご審議賜りご賛同いただきますようよろしくお願い申し上げて、冒頭あいさつといたします。